

第21回 鹿児島県地域年金事業運営調整会議

【資料2】

令和6年3月6日

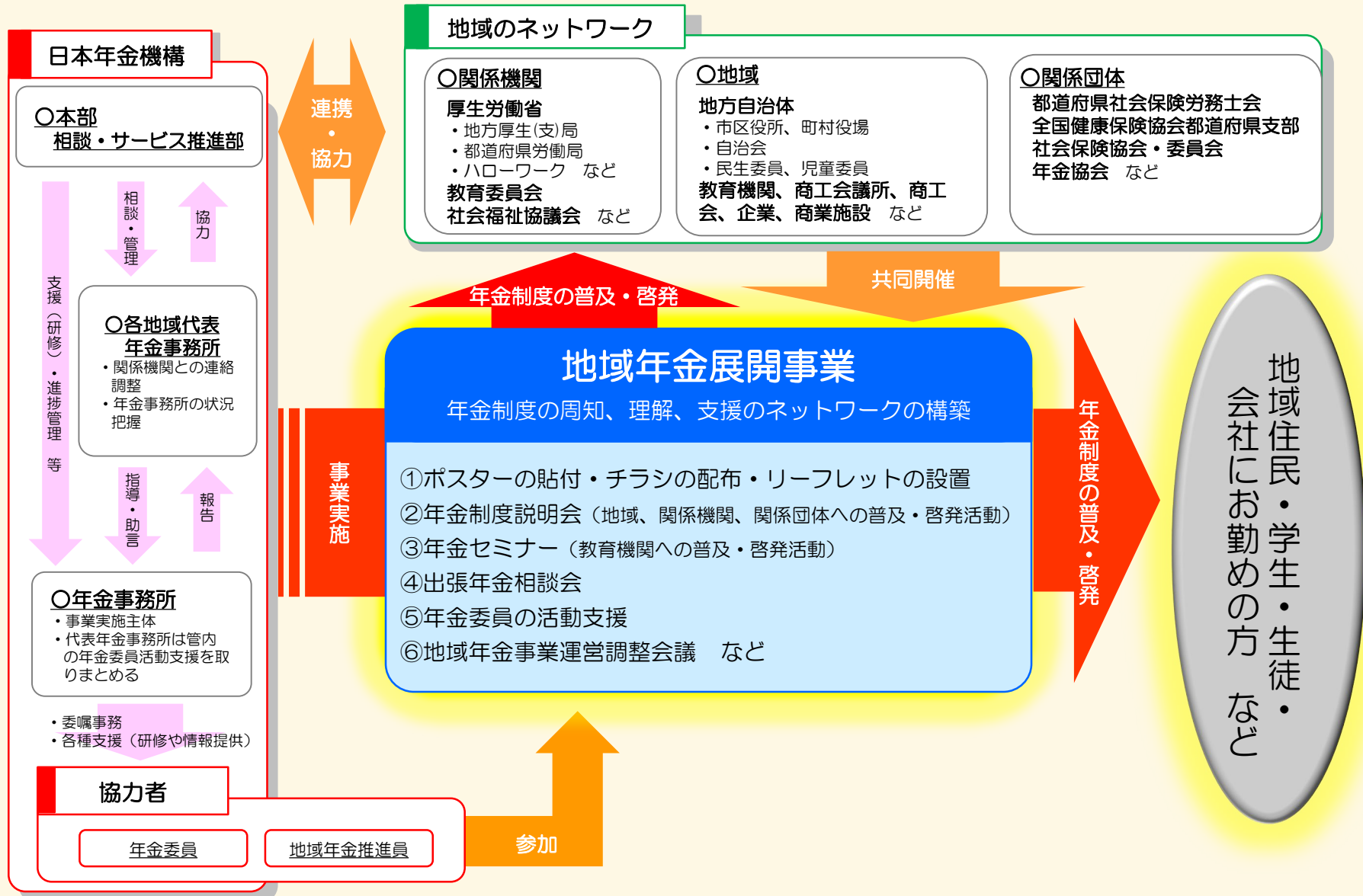


目次

- | | |
|----------------------------------|---------|
| 1. 地域年金展開事業の概要 | P.1～3 |
| 2. 令和5年度事業実施経過報告（令和5年4月～令和5年12月） | P.4～23 |
| 3. 令和6年度事業計画(案) | P.24～30 |

1. 地域年金展開事業の概要

地域年金展開事業の概要



地域年金展開事業の主な取り組み

- 公的年金制度の普及・啓発や国民年金保険料収納率の向上等のため、関係機関との連携協力のもと、「年金制度説明会」や「年金セミナー」「出張年金相談」等を実施します。
- また、日本年金機構が取り組む公的年金制度の普及・啓発活動について、都道府県ごとに関係者や有識者からなる「地域年金事業運営調整会議」を開催し、事業推進の意見や助言を伺います。

地域連携事業

- 職員が自治体や民間企業、関係機関、関係団体等に対し、オンラインまたは対面により、事務担当者や従業員・所属員・加入員向けの年金制度説明会を実施。
- 市区役所・町村役場の広報誌や行事等を通じ、年金制度や日本年金機構が行う事業の周知、ポスター・チラシの掲示や設置、配布の依頼等。

年金セミナー事業

- 年金事務所職員が高校、大学、専門学校等に対し、オンラインまたは対面により、生徒・学生向けの年金セミナーを実施。もしくは年金セミナー用動画（DVD）を配付。
- 大学での年金相談、学生納付特例制度の申請窓口の開設、パンフレットの設置、配布の依頼等。

地域相談事業

- 年金事務所から遠方の地域住民の利便性やニーズに合わせるため、市区役所・町村役場や大規模商業施設、イベント会場等で、出張年金相談や免除申請窓口を開設。

年金委員 活動支援事業

- 年金委員を対象とした研修会の開催や、各種冊子・チラシなど活動に役立つ情報を提供。

地域年金事業 運営調整会議

- 公的年金制度の普及・啓発などの検討や年金事務所が行う事業への意見・助言を行うため、学識経験者や関係機関の職員などを委員として都道府県単位で設置。

2. 令和5年度事業実施経過報告

(令和5年4月～令和5年12月)

○地域連携事業

計画

実績

総括及び課題

- ① 市町村や官公庁に対し、窓口での年金制度に関するポスターの掲示及びリーフレットの設置等を依頼し、地域住民への情報提供の充実を図る。
- ② 市町村広報誌等を活用し、年金制度や出張相談にかかる周知を行う。
- ③ 市町村職員への研修、説明会を定期的に実施する。

- ① 市町村や官公庁に対し、年金相談の予約に関するポスターの掲示及びリーフレットの設置等を依頼し、地域住民への周知広報を実施した。
また、市町村や年金委員に日本年金機構アニュアルレポートを送付し、事業運営の状況や目標の達成状況について情報提供を行った。
- ② 市町村広報誌へ出張相談の日程などの年金に関する記事を提供し、地域住民への広報を行った。
- ③ 市町村職員への研修を以下のとおり実施した。



市町村・官公庁

| 事務所 | 実施月 | 対象市町村 | 参加者数 | 開催方法 |
|------|---------|---|------|------|
| 鹿児島南 | 令和5年6月 | 指宿市、枕崎市、南さつま市、南九州市 | 8 | 対面 |
| | 令和5年8月 | 指宿市 | 10 | 対面 |
| | 令和5年11月 | 南さつま市 | 6 | 対面 |
| | 令和5年12月 | 南九州市 | 6 | 対面 |
| 鹿児島北 | 令和5年6月 | 鹿児島市（本庁、谷山支所、吉野支所、喜入支所、郡山支所、桜島支所、吉田支所、松元支所）、日置市（本庁、東市来支所、日吉支所、吹上支所）、西之表市、中種子町、南種子町、屋久島町、三島村、十島村 | 18 | 対面 |
| | 令和5年11月 | 鹿児島市（松元支所、喜入支所、伊敷支所、吉田支所、吉野支所、桜島支所）、日置市（本庁、吹上支所、日吉支所）、西之表市 | 10 | 対面 |
| | 令和5年12月 | 鹿児島市（本庁、喜入支所、谷山支所、伊敷支所）、日置市吹上支所、中種子町、屋久島町、三島村、十島村 | 9 | 対面 |

計画

実績

総括及び課題

市町村・官公庁

| 事務所 | 実施月 | 対象市町村 | 参加者数 | 開催方法 |
|------|---------|---|------|------|
| 川内 | 令和5年6月 | 薩摩川内市、いちき串木野市、出水市、阿久根市、さつま町、長島町 | 10 | 対面 |
| | 令和5年10月 | 長島町 | 1 | 対面 |
| | 令和5年11月 | 薩摩川内市、いちき串木野市、出水市、さつま町 | 5 | 対面 |
| | 令和5年12月 | いちき串木野市、阿久根市 | 3 | 対面 |
| 加治木 | 令和5年6月 | 霧島市、始良市、伊佐市、湧水町 | 8 | 対面 |
| | 令和5年11月 | 伊佐市、始良市 | 4 | 対面 |
| | 令和5年12月 | 霧島市、始良市、湧水町 | 6 | 対面 |
| 鹿屋 | 令和5年6月 | 鹿屋市 | 6 | 対面 |
| | 令和5年7月 | 垂水市、曾於市、志布志市、南大隅町、肝付町、東串良町、錦江町 | 15 | 対面 |
| | 令和5年10月 | 大崎町 | 2 | 対面 |
| 奄美大島 | 令和5年5月 | 奄美市、大和村、宇検村、徳之島町、天城町、和泊町 | 10 | 対面 |
| | 令和5年6月 | 奄美市、大和村、宇検村、瀬戸内町、龍郷町、喜界町、徳之島町、天城町、伊仙町、和泊町、知名町、与論町 | 20 | 対面 |
| | 令和5年11月 | 奄美市、大和村、宇検村、瀬戸内町、喜界町、徳之島町、和泊町、知名町 | 8 | 対面 |
| | 令和5年12月 | 奄美市、天城町、伊仙町、与論町 | 4 | 対面 |
| 合計 | | 43市町村 | 169 | |

○ 市町村の担当者が、日頃の業務の中で難しいと感じていること、疑問に思っていることが少しでも解決できるよう、実践的な研修となるよう努める。

○ 国民年金の適用・収納については、市町村との緊密な連携が不可欠であるためオンラインの活用を含め研修会や意見交換の機会の充実をさらに進めていく必要がある。

* 令和5年11月及び令和5年12月開催の研修について、二部制でし、オンラインで博多年金事務所と繋ぎ第一部を実施

計画

実績

総括及び課題

市町村・官公庁

④ 市町村担当職員向け情報誌を定期的に発行し、制度改正や事務処理上の留意点について情報提供を行う。

④ 市町村担当者向け情報誌「かけはし」を定期的に発行し、制度改正や事務処理上の留意点について、タイムリーな情報提供を行った。
送付時期：5月、7月、9月、11月、1月（奇数月に発行）



○ 情報提供を行うのみにとどまっているため、市町村担当職員からの意見・要望も取り込んでいきたい。

全国健康保険協会

① 定期的に連絡会議を開催し、情報共有を図る。

① 令和5年8月23日（水）鹿児島地区行政等連絡協議会

② 機構及び全国健康保険協会の業務にかかる研修会を相互に実施する。

② 双方のスケジュール調整が整わなかったため開催できなかった。

③ 全国健康保険協会と共催で年金委員功労者表彰式を開催する。

③ 健康保険委員の受賞者がいなかったため、今年度は年金委員功労者表彰式のみ開催。
※ 詳しくはP21「ねんきん月間」及び「年金の日」における取り組みで報告

○ 厚生年金保険の適用に伴う保険証の発行や、健康保険の給付と年金の給付など、相互に関連する業務について理解を深めることは、お客様サービスの観点からも非常に重要であることから、引き続き連携強化を図る。

計画

実績

総括及び課題

社会保険労務士会

① 定期的に連絡会を開催するとともに、適宜情報提供を行う。

① 鹿児島地区行政等連絡協議会（令和5年8月23日）
北薩・串木野地区行政等連絡協議会（令和5年9月7日）
霧島地区行政等連絡協議会（令和5年9月20日）
大隅地区行政等連絡協議会（令和5年10月12日）
奄美地区行政等連絡協議会（令和5年10月27日）

| 実施日 | 場所 | 主な議題 | 参加数 |
|--------|------------------|---------|-----|
| 4月21日 | 鹿児島県社会保険労務士会 会議室 | SLAの状況等 | 2 |
| 5月24日 | 鹿児島県社会保険労務士会 会議室 | SLAの状況等 | 2 |
| 6月21日 | 鹿児島県社会保険労務士会 会議室 | SLAの状況等 | 2 |
| 7月25日 | 鹿児島県社会保険労務士会 会議室 | SLAの状況等 | 2 |
| 8月24日 | 鹿児島県社会保険労務士会 会議室 | SLAの状況等 | 2 |
| 9月12日 | 鹿児島県社会保険労務士会 会議室 | SLAの状況等 | 2 |
| 10月20日 | 鹿児島県社会保険労務士会 会議室 | SLAの状況等 | 2 |
| 11月20日 | 鹿児島県社会保険労務士会 会議室 | SLAの状況等 | 5 |
| 12月18日 | 鹿児島県社会保険労務士会 会議室 | SLAの状況等 | 2 |

② 会員に対する研修会を開催する。

② 研修会の開催 令和5年6月13日
サンロイヤルホテル
「算定事務講習会」
「短時間労働者適用拡大」について

○ 受給開始時期の選択肢の拡大や被用者保険の適用拡大などの大きな制度改正が実施されることから、年金相談窓口の安定的運営のために社会保険労務士会と機構との更なる連携が不可欠である。
よって、機構から年金相談窓口スキル向上のための勉強会やCS向上の情報提供を行っていく。

* SLA：サービスレベルアグリーメント
年金相談窓口等の運営業務
サービス品質に関する合意

社会保険協会

① 社会保険協会発行の広報誌へ記事を掲載し、会員事業所への情報提供を行う。

① 奇数月に発行される社会保険協会発行の広報誌「社会保険かごしま」に記事を掲載し、情報提供を行った。
＜主な掲載記事＞
・電子申請の推進
・算定基礎届・賞与支払届提出の案内
・「わたしと年金」エッセイ募集
・ねんきんネットの利用促進
・被用者保険の適用拡大



○ 記事掲載による情報発信をさらに効果的なものとするため、より分かりやすく読みやすい記事となるよう工夫する。

計画

実績

総括及び課題

社会保険委員会

① 社会保険委員会主催の会議に出席し、年金制度の説明や事業への協力依頼を行う。

① 日本年金機構、全国健康保険協会、社会保険協会の四者で開催

| 事業 | 地区 | 場所 | 実施日 | 参加数 |
|-----|-----------|---------------|--------|------|
| 研修会 | 鹿児島北年金事務所 | 鹿児島サンロイヤルホテル | 11月7日 | 118 |
| | 鹿児島南年金事務所 | 鹿児島サンロイヤルホテル | 11月16日 | 135 |
| | 川内年金事務所 | 薩摩川内市国際交流センター | 11月14日 | 95 |
| | 加治木年金事務所 | 加音ホール | 11月8日 | 67 |
| | 鹿屋年金事務所 | 鹿屋市文化会館 | 11月28日 | 90 |
| | 奄美大島年金事務所 | 奄美振興会館 | 11月21日 | 54 |
| | 合計 | 6か所 | | 559名 |

② 社会保険委員会連合会と共催で年金委員功労者表彰式を開催する。

② 令和5年11月7日に年金委員功労者表彰式を開催した。
※ 詳しくはP.21「ねんきん月間」及び「年金の日」における取り組みで報告

年金協会

① 年金協会が主催するイベントに参加し、受給者へ制度周知を図る。

① 年金協会主催の福祉講座において、下記7会場にて年金相談の予約、ねんきんネット、マイナポータルの利用についてチラシを配布し周知を行った。
加音ホール・谷山サザンホール・鹿屋市文化会館・宝山ホール・薩摩川内市国際交流センター・知覧文化会館・奄美市市民交流センター

自治体・町内会等

① 地域住民への年金制度説明会を開催する。

| 事務所 | 開催月 | 主な議題 | 対象 | 参加数 |
|-----|-----|----------|-----------|-----|
| 加治木 | 11月 | 年金制度について | 市民後見人養成講座 | 11 |



○ オンラインでの確定申告に必要な年金の通知書をマイナポータルで受け取れることなど、ねんきんネットの利用について更なる周知が必要。

○ 地域住民のニーズを的確につかみ、地域住民が容易に理解し、かつ役に立つような制度説明ができるように努める。

計画

実績

総括及び課題

企業・団体等

① 企業や団体の従業員に対し、年金制度説明会を開催する。

| 事務所 | 実施月 | 説明内容 | 参加者 |
|------|-----|----------------------------------|------|
| 鹿児島北 | 6月 | 算定事務・短時間労働者適用拡大 | 45名 |
| | 7月 | 算定事務 | |
| | 11月 | 短時間労働者適用拡大・オンライン事業所年金情報サービス | |
| 鹿児島南 | 6月 | 算定事務 | 343名 |
| | 8月 | 調査における指摘事項の多い事例 | |
| | 11月 | 短時間労働者適用拡大・オンライン事業所年金情報サービス | |
| | 12月 | オンライン事業所年金情報サービス・調査における指摘事項の多い事例 | |
| 川内 | 6月 | 算定事務 | 135名 |
| | 11月 | 短時間労働者適用拡大・オンライン事業所年金情報サービス | |
| 加治木 | 5月 | 算定事務 | 127名 |
| | 11月 | 調査における指摘事項の多い事例・オンライン事業所年金情報サービス | |
| 鹿屋 | 6月 | 算定事務 | 53名 |
| 奄美大島 | 6月 | 算定事務 | 82名 |
| | 11月 | 短時間労働者適用拡大 | |
| 合計 | | | 785名 |

② 企業や団体に年金に関する情報提供を行うとともに、関係者への周知を依頼する。

② 「年金相談の予約制」、「オンライン事業所年金サービス」の広報を行った。

マスメディア

① 「ねんきん月間」や「年金の日」等について、マスメディアを活用した広報を行う。

① 鹿児島県政記者クラブに対し、以下のとおりプレスリリースを行った。
 ・6月2日 令和5年度「わたしと年金」エッセイ募集
 ・10月25日 令和5年度「ねんきん月間」「年金の日」の取り組みについて

○ オンラインによる制度説明会が可能であることを広く周知し、民間企業への制度説明会開催のアプローチをさらに進めていく。

○ 今後も取り組みを継続するとともに、企業のニーズを的確につかみ、さらなる連携強化を図る。

○ マスメディアを活用した周知広報は、まだ十分にできていない状況にある。今後は他の地域の取り組みも参考にしながら、有効な方策を検討する。

○年金セミナー等事業

開催に向けたアプローチ

| 計画 | 実績 | 総括及び課題 |
|---|---|---|
| <p>① 年金セミナー等の実施に向け、教育関係機関への協力依頼を行う。</p> <p>② 中学校・高校・大学・専門学校等に対し、積極的なアプローチを行う。 また、高校へのアプローチを行う際は、地域年金推進員を積極的に活用する。</p> | <p>① 鹿児島県教育庁（高校教育課、義務教育課）へ年金セミナー開催及び「エッセイ」募集への協力依頼を行った。</p> <p>② 対面での年金セミナー実施が困難な学校へ、年金セミナー動画(DVD)やオンラインによる年金セミナーの開催を行った。</p> <div data-bbox="629 776 1259 1219" data-label="Image"> </div> | <p>○ 学校側のカリキュラムやニーズを十分把握するとともに、多様な年金セミナーが実施できることを積極的にアピールし、数あるセミナーの中から年金セミナーを選んでいただけるよう努める。</p> <p>○ 校長OBである地域年金推進員によるアプローチは非常に有効である。今後も連携を密にし取り組みを進めていく。</p> |

計画

実績

総括及び課題

① 各学校の状況や要望に応じた年金セミナー等を開催する。

◎年金セミナーの開催実績は以下のとおり。

| 事務所 | 学校名 | 実施方法 | 実施日 | 参加者数 |
|------|-----------------------|------|-----------|------|
| 鹿児島北 | 鹿児島環境・情報専門学校 | 対面 | 4月11日 | 36 |
| | 県立農業高等学校 | 対面 | 4月12日 | 76 |
| | 鹿児島レディスカレッジ | 対面 | 4月21日 | 62 |
| | 鹿児島純心女子短期大学 | 対面 | 5月11日 | 135 |
| | 赤塚学園看護専門学校 | DVD | 10月3日 | 35 |
| | 鹿児島医療技術専門学校 理学療法学科 | DVD | 10月6日 | 54 |
| | 鹿児島医療技術専門学校 作業療法学科 | DVD | 10月11日 | 18 |
| | 南九州医療事務医療秘書専門学校 | DVD | 10月13日 | 30 |
| | 鹿児島工学院専門学校 | DVD | 10月13日 | 75 |
| | KCS鹿児島情報専門学校 | 対面 | 10月23日 | 142 |
| | 鹿児島医療技術専門学校 言語聴覚療法学科 | DVD | 11月2日 | 14 |
| | 鹿児島医療技術専門学校 看護学科学科 | DVD | 11月6日 | 64 |
| | 鹿児島医療技術専門学校 診療放射線技術学科 | DVD | 11月8日 | 68 |
| | 県立吹上高校 | 対面 | 11月8日 | 47 |
| | 鹿児島医療福祉専門学校 看護学科 | DVD | 11月9日 | 37 |
| | 鹿児島医療技術専門学校 介護福祉学科 | DVD | 11月13日 | 9 |
| | 志学館大学 法学部 | 対面 | 12月14日 | 37 |
| | 鹿児島国際大学 福祉社会学部児童学科 | 対面 | 12月18日 | 80 |
| | 久木田学園看護専門学校 | 対面 | 12月18日 | 24 |
| | 県立鹿児島南高校 | DVD | 12月25・26日 | 44 |

- 今後Web会議ツールを活用した年金セミナーが増加することを踏まえ、オンラインセミナーに適した資料の作成、操作方法の習得、伝わりやすい説明スキルの習得などについて検討していく。
- 相手方にオンラインセミナーのメリットが実感できるような工夫を重ねていくことが重要である。



計画

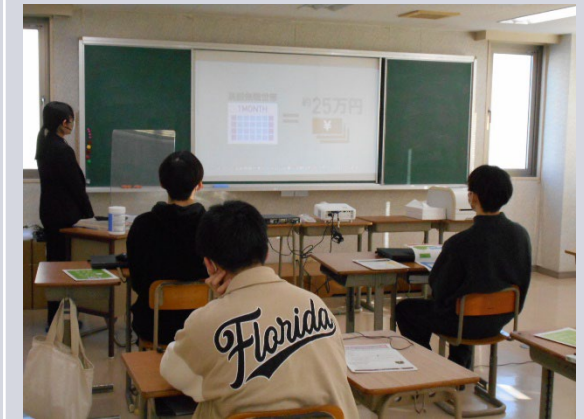
実績

総括及び課題

| 事務所 | 学校名 | 実施方法 | 実施日 | 参加者数 |
|------|-----------------|-------|--------|------|
| 川内 | 鹿児島純心大学 | 対面 | 6月20日 | 35 |
| | 鹿児島障害者職業能力開発校 | 対面 | 9月12日 | 35 |
| | 県立宮之城高等技術専門学校 | DVD | 11月8日 | 27 |
| | 出水郡医師会准看護学校 | DVD | 11月8日 | 22 |
| 加治木 | 第一工科大学 | 対面 | 4月4日 | 314 |
| | 鹿児島第一医療リハビリ専門学校 | オンライン | 8月18日 | 217 |
| | 第一幼児教育短期大学 | 対面 | 9月26日 | 42 |
| 鹿屋 | 鹿屋女子高校 | 対面 | 11月15日 | 6 |
| | 鹿屋看護専門学校 | 対面 | 12月5日 | 30 |
| 奄美大島 | 奄美看護福祉専門学校 | 対面 | 4月19日 | 158 |

| | 開催校数 | 参加者数 | オンライン | DVD | 対面 |
|-----------|------|-------|-------|-----|----|
| 高等学校 | 3 | 97 | 0 | 1 | 2 |
| 大学・短大 | 6 | 643 | 0 | 0 | 6 |
| 専門学校・各種学校 | 16 | 1,233 | 1 | 7 | 8 |
| 計 | 25 | 1,973 | 1 | 8 | 16 |

* 開催校数は学校名で計上



| 計画 | 実績 | 総括及び課題 |
|---|--|---|
| <p>① 地域年金推進員を積極的に活用し、年金セミナー開催のアプローチを行う。</p> | <p>① 高等学校へアプローチ（鹿児島北・鹿児島南・川内管轄）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問：58校（8月） ・電話勧奨：7校（12月） | <ul style="list-style-type: none"> ○ 年金セミナーの活性化のためには地域年金推進員の協力が極めて重要であるため、引き続き、連携を強化していく。なお、アプローチについては、事前の連絡を要する。大隅半島は推進員の居住地から遠隔のため、アプローチが出来ていない。 |
| <p>② 地域年金推進員との連絡会議を開催し、意見交換・情報共有を行う。</p> | <p>② 高等学校あて年金セミナー意向調査文書のアドバイス 高等学校への年金セミナーアプローチの打合せ（8月実施）</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校側の意向に合わせ、対面型と非対面型の両立を図るが、オンラインセミナーに適した資料の作成や操作方法の習得、伝わりやすい説明の仕方など地域年金推進員と連携していく。 |

地域年金推進員

○地域相談事業

| 計画 | | 実績 | | | | | 総括及び課題 | |
|-----|--------------------------------|---|---------|-------------------|-----|------|--|--|
| 市町村 | ① 遠隔地の市町村において、定期的に出張年金相談を開催する。 | ① 各市町村における出張年金相談の開催状況は以下のとおり。 (令和5年4月～令和5年12月) | | | | | ○ 感染防止対策を徹底したうえで実施することができた。 ○ 遠隔地にお住いの被保険者・受給者にとって、出張年金相談は極めて重要な相談の機会であり、多くのニーズもあることから、引き続き市町村や関係機関と連携しながら実施していく。 | |
| | | 事務所 | 開催場所 | 開催月(頻度) | 開催数 | 相談人数 | | |
| | | 鹿児島北 | 日置市 | 毎月 | 9 | 183 | | |
| | | | 西之表市 | 毎月 | 9 | 204 | | |
| | | | 中種子町 | 5・11月 | 2 | 25 | | |
| | | | 南種子町 | 5・11月 | 2 | 35 | | |
| | | | 屋久島町 | 6・9・12月 | 3 | 58 | | |
| | | 鹿児島南 | 枕崎市 | 5・6・7・9・10・11月 | 6 | 45 | | |
| | | | 指宿市 | 4・6・7・8・10・11・12月 | 7 | 51 | | |
| | | | 南九州市 | 4・5・7・8・9・11・12月 | 7 | 50 | | |
| | | | 南さつま市 | 4・5・6・8・9・10・12月 | 7 | 39 | | |
| | | 川内 | 薩摩川内市 | 5・7・9・11・12月 | 5 | 18 | | |
| | | | いちき串木野市 | 6・8・11月 | 3 | 21 | | |
| | | | 阿久根市 | 5・7・9・11・12月 | 5 | 44 | | |
| | | | 出水市 | 毎月 | 9 | 180 | | |
| | | | さつま町 | 4・6・8・10・12月 | 5 | 33 | | |
| | | | 長島町 | 4・6・8・10・12月 | 5 | 28 | | |

計画

実績

総括及び課題

市町村

| 事務所 | 開催場所 | 開催月（頻度） | 開催数 | 相談人数 |
|------|------|--------------|------|--------|
| 加治木 | 伊佐市 | 毎月 | 9 | 148 |
| | 湧水町 | 4・6・8・10・12月 | 5 | 25 |
| 鹿屋 | 曾於市 | 毎月 | 9 | 44 |
| | 志布志市 | 毎月 | 9 | 89 |
| 奄美大島 | 喜界町 | 6・9月 | 2 | 22 |
| | 徳之島町 | 4・6・8・10・12月 | 5 | 38 |
| | 天城町 | 7・11月 | 2 | 23 |
| | 伊仙町 | 5・9月 | 2 | 21 |
| | 知名町 | 8月 | 1 | 6 |
| | 与論町 | 5・11月 | 2 | 12 |
| 合計 | 25市町 | | 130回 | 1,442名 |

計画

実績

総括及び課題

特別支援学校

- ① 特別支援学校に対し、障害年金制度にかかる制度説明会のアプローチを積極的に行う。
- ② 感染防止対策を徹底したうえで、特別支援学校での制度説明会の実施する。

- ① 例年開催している特別支援学校から依頼あり。県内の特別支援学校に対しアプローチを実施。
- ② 令和5年5月19日 鹿児島高等特別養護学校 教員・保護者対象 56名
令和5年10月26日 南薩特別支援学校 教員・保護者対象 90名

- 特別支援学校の生徒は、将来、障害年金を受給する可能性が高く、保護者や教職員に対する制度説明は極めて重要であるとの認識から、重点的に取り組みを進める必要がある。
- 保護者や教職員に対する制度説明は極めて重要であるとの認識から、更に取り組みを進めていく。

ハローワーク

- ① ハローワークと協力し、求職者や失業者に対する年金制度説明会及び国民年金保険料免除申請にかかる相談会を開催する。

- ① ハローワークにおいて、定期的に求職者や失業者に対する年金制度説明会を開催した。あわせて、国民年金保険料免除申請にかかる相談会を開催した。ただし、新型コロナウイルス感染症の影響により、資料の設置のみとなるなど、予定の回数及び内容での実施ができない場合が多くあった。

- ハローワークでの説明会は、求職者や失業者からの免除申請書の獲得が効率的に行えることから、引き続き取り組んでいく。

| 事務所 | 実施月 | 説明内容 | 参加者 |
|------|-----------|--|--------|
| 鹿児島北 | 6月 12月 | 短時間労働者適用拡大・育児保険料免除 調査における指摘事項の多い事例・短時間労働者適用拡大 | 30名 |
| 鹿児島南 | 4～12月(毎月) | 国民年金の加入と免除制度 | 447名 |
| 川内 | 10月 | 在職老齢年金制度 | 10名 |
| 加治木 | 12月 | 在職老齢年金制度 | 18名 |
| 鹿屋 | 4～12月(毎月) | 国民年金の取得及び免除制度 | 1,860名 |
| 奄美大島 | 4～12月(毎月) | 国民年金説明 | 453名 |
| 合計 | | | 2,818名 |

計画

実績

総括及び課題

③ 年金委員の委嘱拡大に向け、事業所や関係機関に対しアプローチを行う。

③ 職域型年金委員数の推移（令和5年3月～令和5年12月）

○ 令和5年度は、被保険者が50名以上在籍する事業所を主に委嘱拡大に取り組んでいる。

| | | 令和5年3月 末 | 令和5年4月 | 令和5年5月 | 令和5年6月 | 令和5年7月 | 令和5年8月 | 令和5年9月 | 令和5年10月 | 令和5年11月 | 令和5年12月 |
|------|----------------|-------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|---------|---------|
| 鹿児島南 | 現存数 | 576 | 579 | 579 | 586 | 590 | 591 | 592 | 592 | 592 | 595 |
| | 令和5年3月 との比較 | | | | | | | | | | +19 |
| 鹿児島北 | 現存数 | 366 | 366 | 366 | 380 | 383 | 383 | 383 | 381 | 383 | 388 |
| | 令和5年3月 との比較 | | | | | | | | | | +22 |
| 川内 | 現存数 | 368 | 368 | 366 | 366 | 370 | 370 | 370 | 373 | 373 | 373 |
| | 令和5年3月 との比較 | | | | | | | | | | +5 |
| 加治木 | 現存数 | 205 | 205 | 205 | 205 | 206 | 206 | 207 | 210 | 211 | 211 |
| | 令和5年3月 との比較 | | | | | | | | | | +6 |
| 鹿屋 | 現存数 | 441 | 441 | 441 | 440 | 441 | 441 | 441 | 443 | 442 | 442 |
| | 令和5年3月 との比較 | | | | | | | | | | +1 |
| 奄美大島 | 現存数 | 209 | 209 | 209 | 210 | 210 | 210 | 210 | 210 | 210 | 210 |
| | 令和5年3月 との比較 | | | | | | | | | | +1 |
| 計 | 現存数 | 2,165 | 2,168 | 2,166 | 2,187 | 2,200 | 2,201 | 2,203 | 2,209 | 2,211 | 2,219 |
| | 令和5年3月 との比較 | | | | | | | | | | +54 |

④ 年金委員功労者表彰式を開催する

④ 11月7日に開催した。
※詳細はP.21「ねんきん月間」及び「年金の日」における取り組みに記載。

年金委員

計画

実績

総括及び課題

③ 年金委員の委嘱拡大に向け、事業所や関係機関に対しアプローチを行う。

③ 地域型年金委員数の推移（令和5年3月～令和5年12月）

○ 年金委員の属性やキャリアが様々であるため、年金委員に対する必要な支援として、定期的な研修や意見交換会等が必要である。

| | | 令和5年3月 末 | 令和5年4月 | 令和5年5月 | 令和5年6月 | 令和5年7月 | 令和5年8月 | 令和5年9月 | 令和5年10月 | 令和5年11月 | 令和5年12月 |
|------|----------------|-------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|---------|---------|
| 鹿児島南 | 現存数 | 177 | 176 | 176 | 178 | 178 | 178 | 173 | 169 | 169 | 169 |
| | 令和5年3月 との比較 | | | | | | | | | | -8 |
| 鹿児島北 | 現存数 | 47 | 49 | 49 | 49 | 49 | 49 | 49 | 49 | 50 | 50 |
| | 令和5年3月 との比較 | | | | | | | | | | +3 |
| 川内 | 現存数 | 23 | 23 | 21 | 22 | 22 | 23 | 23 | 23 | 23 | 23 |
| | 令和5年3月 との比較 | | | | | | | | | | ±0 |
| 加治木 | 現存数 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 | 16 | 16 | 17 |
| | 令和5年3月 との比較 | | | | | | | | | | +2 |
| 鹿屋 | 現存数 | 11 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 13 | 13 | 13 |
| | 令和5年3月 との比較 | | | | | | | | | | +2 |
| 奄美大島 | 現存数 | 22 | 22 | 22 | 22 | 22 | 23 | 23 | 23 | 23 | 23 |
| | 令和5年3月 との比較 | | | | | | | | | | +1 |
| 計 | 現存数 | 295 | 297 | 295 | 298 | 298 | 300 | 295 | 293 | 294 | 295 |
| | 令和5年3月 との比較 | | | | | | | | | | ±0 |

年金委員

○ 「ねんきん月間」 及び 「年金の日」 における取り組み

| 計画 | 実績 | 総括及び課題 |
|--|---|---|
| <p data-bbox="31 421 72 628" style="writing-mode: vertical-rl;">年金委員表彰式</p> <p data-bbox="93 278 486 349">① 年金委員功労者表彰伝達式を開催する。</p> | <p data-bbox="518 278 1336 314">① 令和5年11月7日 鹿児島サンロイヤルホテルにて開催。</p> <p data-bbox="569 385 1419 449">表彰伝達式は、鹿児島県社会保険委員会と鹿児島県社会保険協会の共催で行われた。</p> <p data-bbox="569 492 932 521">職域型年金委員の表彰者数</p> <ul style="list-style-type: none"> 厚生労働大臣・・・1名 理事長表彰・・・1名 理事表彰・・・4名 <p data-bbox="569 628 870 656">地域型年金委員の表彰</p> <ul style="list-style-type: none"> 理事表彰・・・2名 | <p data-bbox="1450 278 1947 314">○ 関係者のみの表彰伝達式とした。</p> <div data-bbox="1481 428 1968 749">  </div> <p data-bbox="1450 771 1968 792">※写真の掲載については、ご本人の了承をいただいています。</p> |
| <p data-bbox="31 978 72 1213" style="writing-mode: vertical-rl;">各拠点の取り組み</p> <p data-bbox="93 849 486 992">① 各拠点において、公的年金制度を積極的にPRするための独自の取り組みを実施する。</p> <div data-bbox="217 999 486 1370">  </div> | <p data-bbox="518 849 1170 885">① 「ねんきん月間」における出張相談所の開設</p> <p data-bbox="569 956 1419 1056">市町村、年金委員にポスター・リーフレットを送付し、「ねんきん月間」「年金の日」にかかる取り組みについての周知・広報の協力依頼を行った。</p> | <p data-bbox="1450 849 2030 992">○ 今年度は県内合同開催による商業施設での年金相談会やチラシ配布を中止。集客方法について、今後周知方法など検討が必要。</p> <p data-bbox="1450 1063 2030 1163">○ 広く国民の皆様には年金制度を知っていただく大切な機会であることから、より工夫を凝らした取り組みを検討する。</p> |

① 「わたしと年金」エッセイ募集に係る広報・アプローチを積極的に行う。

① 関係機関に広報等行い、今年度は下記の高校から応募があった。
 県立沖永良部高校…1名
 鹿屋市立鹿屋女子高校…2名

「わたしと年金」エッセイ

令和5年度入賞作品

日本年金機構理事長賞 埼玉県 小林 佳歩 様 (高校生)

「マイナンバーは、年金を必要とする方にとって頼もしい味方になってくれます！」
 この言葉は、知り合いの社会保険労務士の方から聞いた言葉で、私の印象に強く残っています。

私の祖母は2人とも年金を受給して生活していましたが、昨年4月に大好きだった祖父が他界しました。体調に異変を感じ、病院に行くと癌が発覚してからわずか三週間でした。幼いころからずっと一緒だった祖父の死を信じることができず、とても辛かったです。残された祖母はずっと専業主婦だったので、国民年金から老齢基礎年金を受給していました。約40年仕事をしてきた祖父の年金が無くなってしまったら、祖母の生活が成り立たなくなってしまうのではないかと、私たち親族は心配していました。年金の手続きがよく分からなかったこともあり、社会保険労務士という方をお願いして年金の手続きを依頼することになったのですが、そこで初めて私は、祖父の年金が遺族厚生年金となって祖母が受給できるということを知りました。年金というと、高齢者が今まで支払ってきた保険料をもとに受け取る老齢年金しかイメージがありませんでしたが、老後の生活の柱であった祖父が亡くなった時に、祖父の年金の一部を遺族年金として祖母が受け取れるようになることを知り、年金制度は良くできているのだなと感心しました。

同時に、大好きな祖父のために、何か私にできることはないのだろうかと思いました。そこで私は、社会保険労務士の方に手続きをお願いするにあたり、「祖父の年金の手続きについて、何か私にできることはないでしょうか?」と聞いてみたところ、年金請求書類作成のお手伝いをする事になり、また、実際に請求する際も一緒に連れていっていただくことになりました。請求書類を準備する中、添付する書類が必要となり、今回、戸籍簿本という書類を取り寄せることになりました。社会保険労務士の方は、「以前は、住民票や住民票除票、課税証明書等、たくさんの書類を添付しなければならず、書類取り寄せが大変でした。しかし今は、マイナンバーの利用によって、大部分の添付書類が省略できるようになってきたのですよ!」とお話してくれました。今後、戸籍簿本についてもマイナンバー利用が可能になるとのことで、年金を必要とする方にとって益々便利にな

令和5年度入賞作品

っていくのだと感じました。実際に請求するため、街角の年金相談センターという場所へ同行しましたが、当時中学生3年生だった私にも相談員さんがとても優しく接してくださり、安心して一緒に請求することができました。そして、この手続きが無事に完了したことで、現在、祖母は老齢基礎年金に加えて遺族厚生年金を受給し安心して生活できています。

そして、今回の祖父の年金請求がきっかけとなり、依頼した社会保険労務士の方と請求後も定期的にお会いし、年金制度のお話はもちろん現在話題となっている様々な社会問題についてもお話をさせていただいています。その中でも、障害年金は、障害者の方が直接請求するのは非常に大変で医療機関からの書類の取得、ご自身の今までの状況を書類にする等、本人が直接請求するのにハードルが少し高いということを知りました。例えば、もしマイナンバーが医療機関の情報とも連携し、医療機関の書類が省略できるような環境が整えば、障害者の方にとっても年金を請求しやすい世の中になるのではないかと、マイナンバーの可能性を感じています。

老齢年金だけでなく、遺族年金、障害年金と、人生の大きなターニングポイントに差し掛かった際、誰一人取り残すことなく安心して生活していくために社会保障として成立している大切な年金制度。昨今、マイナンバーの取扱いについては賛否両論ありますが、個人情報管理に関する問題と、個人情報の効果的な使い方に関する問題は別個で取り扱うべきではないかと思えます。是非、年金を必要とする方全員にとって良い方向へとマイナンバーが導いてくれたら嬉しいですね。

高校生となった私は今、将来どのような大人になりたいのか、少しずつ考え始めています。まだまだ漠然としています。が、仕事を通じて、何か社会の役に立てる人間になりたいという気持ちが強くなりました。どのような仕事を通じて私自身が社会の役に立てるのか、是非、大学へ進学して幅広く社会問題を学習し、私自身の将来に繋げていきたいと思えます。もしかしら、大切な祖母の生活を守ってくれた「年金」に携わる仕事も!?

○ 地域年金推進員と積極的に連携し、夏休みの宿題等として、より多数の募集となるよう、入選作品集の送付など、引き続き広報活動に力を入れる。

○ 「わたしと年金」エッセイ入選作品集は、全世代に年金制度の大切さを知ってもらうための有効なツールとなることから、積極的に年金制度の周知広報活動に活用していく。

世代を超える。
 今だからこそ、伝えたい。

「わたしと年金」
 エッセイ
 募集中

賞
 ・厚生労働大臣賞
 ・日本年金機構理事長賞
 ・優秀賞
 ・入選

応募締切
 令和5年9月8日(金)

詳しくは、日本年金機構ホームページをご覧ください。
<https://www.nenkin.go.jp>

令和5年度 わたしと年金 検索

主催: 日本年金機構 後援: 厚生労働省 全国高等学校長協会 全国都道府県教育委員会連合会
 文部科学省

○地域年金事業運営調整会議

| | 計画 | 実績 | 総括及び課題 |
|----------|--|---|--|
| 運営調整会議 | <p>① 地域年金事業運営調整会議を年2回開催し、取り組み状況を報告する。</p> | <p>① 令和5年7月、令和6年3月・・・開催</p> <p><主な議題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業実施結果報告 ・次年度事業計画(案)  | <p>○ 委員の皆様のご意見をしっかりと事業に反映できるような仕組みを構築していく。</p> |
| 委員への情報提供 | <p>① 地域年金事業運営調整会議委員に対し、年金制度や事業に関する情報提供を行う。</p> | <p>① 地域年金事業運営調整会議委員に、「ねんきん月間」や「年金の日」にかかるポスター・リーフレットを送付し、各種取り組みへの協力依頼を行った。</p> | |
| 提言への対応 | <p>① これまでいただいた会議における提言を取り組みに反映させる。</p> | <p>① いただいた主なご意見について、引き続き検討を進めより効果的な取り組みや新たな観点からの施策につなげていく。</p>  <p>※写真の掲載については、ご本人の了承をいただいています。</p> | |

3. 令和6年度事業計画（案）

令和6年度 重点取り組み事項

年金制度を実務にし、確実な適用・徴収、正確な給付等の基幹業務に安定的かつ着実に取り組み、国民生活の安定を支え続けることが、日本年金機構に与えられたミッションです。

この当機構に与えられたミッションの実現に向け、お客様から信頼される続ける組織であるため、組織一丸となって、基幹業務の実績について更なる高みを目指します。

上記を達成するため、以下の4点を、鹿児島県の地域年金展開事業における「令和6年度重点取り組み事項」に位置づけます。

【令和6年度重点取り組み事項】

1. 市町村や関係機関との連携強化を図り、公的年金制度の周知・理解を促進する。
2. 年金セミナー、年金制度説明会等を促進し質の向上を図る。
3. 年金委員活動の活性化及びサポート体制の更なる強化を図るとともに、委嘱拡大を進める。
4. 個人向けオンラインサービス（マイナポータル・ねんきんネット）の利用促進を図る。

(1) 市町村、自治会、事業所、関係機関との協力連携

市町村、自治会、事業所、関係機関等と協力連携し、公的年金制度の周知・広報の充実及び国民年金保険料の納付率向上を図る。

1. 関係機関・関係団体との連携による周知・啓発
 - ・市町村、ハローワーク、税務署等に、窓口での年金制度に関するポスターの掲示及びリーフレットの設置を依頼し、地域住民への情報提供の充実を図る。
 - ・関係機関の会議や研修会に参加し、年金制度や事業に関する情報提供を行う。
2. 市町村広報誌等による周知・啓発
 - ・市町村広報紙等を活用し、出張年金相談の日程や年金制度に関する情報提供を行う。
 - ・社会保険協会発行の広報誌に事務手続きに関する記事等を掲載する。
3. 年金制度説明会の開催
 - ・地域住民及び企業や団体の従業員を対象とした年金制度説明会を積極的に開催する。
 - ・開催にあたっては、オンライン等を活用し、対面型と非対面型の両立を図る。
4. 関係機関・関係団体との連携強化
 - ・市町村担当者への研修や事務打合せ会を定期的で開催する。
 - ・市町村担当者向け情報誌「かけはし」を年6回（奇数月）送付し、情報提供を行う。
 - ・関係機関のニーズを十分聞き取り、効果的な情報提供・制度説明会を実施する。

(2) 地域における相談事業

地域住民のニーズに応えるとともに年金制度への理解を深めていただくため、自治体や教育機関、商業施設等に出向き、出張年金相談を実施する。

1. 市町村等における出張年金相談の実施
 - ・年金事務所から遠隔地の市町村に赴き、定期的に出張年金相談を開催する。
2. 社会福祉施設における障害年金制度説明会の開催
 - ・特別支援学校等に対し、障害年金制度に関する制度説明会開催のアプローチを積極的に行う。
 - ・特別支援学校等の教職員や保護者に対し、制度説明を実施する。
3. ハローワークでの雇用保険受給者説明会にあわせた制度説明会や国民年金保険料免除申請にかかる相談会等の開催
4. 「ねんきん月間」を活用し、多様な方法により公的年金制度の周知・広報を実施
5. 企業や団体の従業員等に対する年金制度説明会の開催
 - ・企業や団体等に対する制度説明会を通じて、電子申請やねんきんネット、制度改正事項等について、広く周知・広報する。
 - ・開催にあたっては、オンライン等の活用も含め、対面型と非対面型の両立を図る。

(3) 教育機関を対象とした年金セミナー事業

中学生や高校生、大学生等の若い世代を対象に、公的年金の大切さを知り、制度への理解を深めていただくため、多様な年金セミナーを積極的に実施するとともに、効果的なアプローチを検討・実施する。

1. 年金セミナー開催に向けたアプローチ

- 教育関係機関に対し、中学校や高校での年金セミナー開催に向けた協力依頼を行う。
- 中学校、高校、大学、専門学校等に対し、リーフレットや厚生労働省YouTube視聴用URLの送付、電話勧奨等のアプローチを積極的に行う。

2. オンラインを活用した年金セミナーの推進

- Web会議ツールを活用した非対面での年金セミナーの拡大を図る。
- 対面によるセミナー、非対面型セミナーの他、厚生労働省YouTubeの視聴など、各学校のニーズや環境に応じたセミナーを開催する。
- 実施後のアンケートや先生方のご意見をもとに、適宜、実施方法や教材の見直しを図る。
- セミナー講師育成のため、機構職員に対する研修を充実させる。

3. 地域年金推進員の活用

- 地域年金推進員が高校、大学、専門学校等を訪問し、リーフレットを活用した説明及び年金セミナー開催のアプローチを行う。
- 地域年金推進員との連絡会議を開催し、意見交換・情報共有を行う。

(4) 年金委員活動の活性化・委嘱拡大

年金委員は、地域や職場での制度周知・理解の促進に欠かせない存在であり、国民年金の納付率向上、無年金者・低年金者の防止に貢献していただく、いわば「地域や職場における機構職員」である。

年金制度に関する研修会や情報提供を充実させることより、年金委員活動の活性化とサポート体制の強化を図るとともに、年金委員の意義・やりがいをしっかりアピールし、委嘱拡大に取り組む。

1. 定期的な研修会・意見交換会の開催

- 厚生労働省からの通知に基づき、制度改正事項や重点協力依頼事項を中心とした研修会・意見交換会を開催する。

2. 積極的な情報提供及び制度周知への協力依頼

- 「年金委員活動のてびき」や情報誌「なごみ便り」を送付し活動を支援する。
- 各種啓発資料（退職後の年金手続きガイド、アニュアルレポート等）を送付するなど、積極的に情報提供を行う。
- 地域型年金委員及び職域型年金委員と連携し、地域住民や企業の従業員への制度周知や情報提供を行い、併せて個人向けオンラインサービス（マイナポータル・ねんきんネット）の利用促進を図る。

3. 委嘱数拡大に向けた取り組み

- 職域型年金委員については、年金委員未設置事業所に推薦依頼文書を送付する。
- 定年退職等による職域型年金委員の辞退者の際には、後任の推薦依頼を丁寧かつ確実にを行う。
- 地域型年金委員については、推薦母体となる関係団体に対し、積極的に推薦依頼を行う。

(5) 「ねんきん月間」及び「年金の日」における取り組み

11月の「ねんきん月間」や11月30日の「年金の日」において、各年金事務所が公的年金制度の普及・啓発活動を積極的に実施する。

1. 年金委員功労者表彰式の開催
2. 各年金事務所における公的年金制度の普及・啓発活動の実施
3. 「わたしと年金」エッセイ募集
 - ・教育機関や関係団体に対し広報及びアプローチを積極的に行い、応募数の増加を図るとともに、応募のあった教育機関に対し感謝状を贈呈するなど、次回応募に向けての取り組みを図る。

(6) 地域年金事業運営調整会議

地域、教育機関、企業の中での年金制度の周知・理解・支援のネットワークの強化並びに地域年金展開事業の推進を図るため、地域年金事業運営調整会議を開催する。